

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和6年1月23日 No.20

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 学校評価について

12月に実施しました学校評価（保護者アンケート）の結果を報告いたします。
下記の集計結果のとおり、計19項目についての評価をいただきました。
御協力をいただき、ありがとうございました。



4（よくあてはまる） ⇄ 1（あてはまらない）	4・3	2・1	平均
①学校だよりや行事のあいさつ等で、学校の方針や取組がよく分かる	91%	9%	3.4
②学校は清潔感があり、学ぶのにふさわしい環境づくりに努めている	79%	21%	3.1
③信頼して学校に子どもを通わせている	90%	10%	3.5
④学校は、保護者の質問や相談に、親身になって対応している	89%	11%	3.4
⑤学校は、いじめをなくす努力をしている	79%	21%	3.1
⑥学校は、子どもが行きたい学校になるよう努力している	88%	12%	3.3
⑦学校は、楽しく分かりやすい授業を目指し、指導を工夫している	89%	12%	3.4
⑧学校は、児童一人一人に応じた学習指導に努めている	75%	25%	3.0
⑨自分の子どもは、家庭学習に取り組む習慣が身に付いている	68%	32%	2.9
⑩学校は、タブレット等のICT機器を学習に活用している	78%	22%	3.0
⑪学校は、命や人権を大切にする意識や態度を育てるよう努めている	84%	16%	3.2
⑫大村小の児童は、明るいあいさつと元気な返事ができる	75%	25%	3.0
⑬大村小の児童は、きまりを守り協力することができる	84%	16%	3.1
⑭自分の子どもは、読書の習慣が身に付いている	51%	49%	2.6
⑮自分の子どもは、早寝・早起き・定時登校など、規則正しい生活習慣が身に付いている	71%	29%	3.0
⑯学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるため、丁寧な指導ができています	83%	17%	3.2
⑰学校は、安全な環境づくりに努めている	88%	12%	3.3
⑱学校は、ふるさと（校区、市、県）の学習を充実させている	90%	10%	3.4
⑲学校は、地域の人達と協力した教育活動を行っている	91%	9%	3.4

※ 「大村市学校評価要項」に従い、19の評価項目で保護者アンケートを行いました。
各項目とも「4段階」で評価をしていただいています。うち、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の合計を「肯定的評価」と捉え、その割合を表に示しました。
下記は、各領域別の考察です。

〈考察〉



○ 学校運営

①から⑥の6項目は、「学校運営」に関わる項目です。①③④⑥で約90%の肯定的評価をいただいておりますが、②の「環境づくり」と、⑤の「いじめ防止」については、79%という結果でした。どちらも、学校としては常に意識的に取り組んでいることですので、もう少し支持を得たいところです。本校が目指す、子どもが「喜んで登校し、満足して下校する」学校づくりのためにも、職員間で共通理解を図り、さらに取組や対応を充実させていきたいと思っております。

○ 学力の保障

⑦から⑩の4項目は、「学力の保障」に関わる項目です。⑦の「指導の工夫」については89%と高い評価をいただいておりますが、⑧の「児童一人一人に応じた学習指導」は75%、⑨の「家庭学習」は68%、⑩の「ICT機器の活用」については78%という結果でした。⑦⑧については、学習に対して「困り感」のある児童がやる気をもって取り組み、自信をもつことができるように、保護者の皆様の協力を得ながら進めていきたいところです。特に⑧では、年度当初に学校から「家庭学習の手引き」を配付しておりますので確認いただくとともに、自主的に学習に向かうよう、引き続き励ましの声かけをお願いします。ICT機器の活用は、主に高学年においてはタブレットの使用は日常になってきています。今後も職員研修等により学びを深め、児童に還元していきたいです。

○ 心の教育の充実

⑪から⑭の5項目は、「心の教育の充実」に関わる項目です。⑬の「あいさつや返事」については、75%という結果でした。でも、児童に実施したアンケートでは、89%が肯定的評価をしていて、学校の内外での差があるように感じています。実際にあいさつの上手な児童はたくさんいて、私も特に朝の登校時には、気持ちのよいあいさつにたくさん元気をもらっています。立ち止まって丁寧にあいさつしたり、相手の名前を先に言ってからあいさつしたりできる児童も増えてきました。あいさつの輪がさらに広がっていくことを期待しています。⑭の「読書の習慣」は、51%と全項目の中で最も低い結果でした。高学年になるにつれて、習い事等、活動の場も増えることから、特に家庭での読書時間の確保が難しい児童もいるのではないかと思います。学校では「ブックハート月間」等、本に親しむ取組をしており、今年度は昨年度達成できなかった「全校貸出冊数5万冊」をもうすぐ達成できそうです。今後も工夫しながら「働きかけ」を続けていきます。

○ 健康安全教育

⑮から⑰の3項目は、「健康安全教育」に関わる項目です。⑮の「規則正しい生活習慣」は71%という結果でした。元気を保ち、健康な毎日を送るためにも、心にゆとりをもって生活するためにも、「規則正しい生活習慣」を定着させたいです。「家庭学習」同様、保護者の皆様の励ましの声かけをお願いします。また、メディア使用の生活習慣への影響も心配しています。各御家庭でのルールの確認と見守りもお願いします。

○ 郷土教育

⑱⑲の2項目は、「郷土教育」に関わる項目です。どちらも高い評価をいただきました。玖島中学校区の4校は昨年度より「ふるさと学」の研究指定を受けていて、明日、1月24日（金）は、その発表会が午前中、シーハットサブアリーナで開催されます。6年生全員が参加し、代表児童が発表を行うことになっています。また、午後からは、玖島中学校体育館で開催される「くしマルシェ」（中学生の企業体験の取組）にも参加します。活動を通して、学校の周りには、協力してくださるたくさんの方がおられ、その方たちの支えのおかげで、充実した学びができていることを子どもたちも感じることができています。



※ 学校評価アンケートは、児童、教職員、地域の皆様にも行っています。
それぞれの結果とも比較・考察し、更なる教育活動の充実に取り組んでまいります。